

8. 国際交流

① 外国人研究者、来訪者の受入れ状況

受入期間	氏名	国名・所属機関・職名	目的
平成 27 年 6 月 4 日～ 6 月 8 日	ZHOU Jinlin	中国・上海獣医学研究所・教授	マダニ媒介原虫感染症に関する共同研究打合せ
平成 27 年 6 月 4 日～ 6 月 8 日	MA Zhiyong	中国・上海獣医学研究所・教授	マダニ媒介原虫感染症に関する共同研究打合せ
平成 27 年 6 月 4 日～ 6 月 8 日	Chen Zaoguo	中国・上海獣医学研究所・教授	マダニ媒介原虫感染症に関する共同研究打合せ
平成 27 年 6 月 4 日～ 6 月 8 日	NIU Mudi	中国・上海獣医学研究所・助教	マダニ媒介原虫感染症に関する共同研究打合せ
平成 27 年 6 月 18 日～ 6 月 20 日	KIM Sok	韓国・慶尚大学・准教授	人獣共通感染症に関する講義（セミナー）、研究打合せ
平成 27 年 6 月 27 日～ 8 月 29 日	SEVINC Ferda	トルコ・Selcuk 大学・教授	マダニ媒介原虫感染症に関する共同研究
平成 27 年 6 月 10 日	SADAAT	アフガニスタン	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Kofi	ガーナ	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	PANUS	インドネシア	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Joko	インドネシア	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Nasan	モンゴル	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Bogie	モンゴル	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Gana	モンゴル	施設見学
平成 27 年 6 月 10 日	Ben	ウガンダ	施設見学

外国人研究者、来訪者の受入れ状況・続き

受入期間	氏名	国名・所属機関・職名	目的
平成 27 年 6 月 24 日～ 7 月 6 日	Oriel MM Thekiso	南アフリカ・ノースウエスト大学・准教授	南アフリカにおける原虫病の疫学調査に関する共同研究
平成 27 年 6 月 24 日～ 7 月 6 日	Moeti Taioe	南アフリカ・ノースウエスト大学・大学院生 (博士課程)	南アフリカにおける原虫病の疫学調査に関する共同研究
平成 27 年 6 月 24 日～ 7 月 6 日	Malitaba Mlangeni	南アフリカ・ノースウエスト大学・大学院生 (修士課程)	南アフリカにおける原虫病の疫学調査に関する共同研究
平成 27 年 7 月 2 日～ 7 月 31 日	Chatchaya Panichcharoen	タイ・マヒドン大学・獣医学部5年生	インターンシップ
平成 27 年 7 月 2 日～ 7 月 31 日	Pakin Wattanapan	タイ・マヒドン大学・獣医学部5年生	インターンシップ
平成 27 年 7 月 2 日～ 7 月 31 日	Keeratipat Sipkae	タイ・マヒドン大学・獣医学部5年生	インターンシップ
平成 27 年 7 月 3 日	Erdenetogtokh Purevdorj	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教員	施設見学
平成 27 年 7 月 3 日	Dagvajamts Badrakh	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教員	施設見学
平成 27 年 7 月 3 日	Sandagdorj Badrakh	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教員	施設見学
平成 27 年 7 月 3 日	Nurbol Unerbek	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教員	施設見学
平成 27 年 7 月 3 日	Otgonjargal Sambuu	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教員	施設見学
平成 27 年 8 月 9 日～ 8 月 14 日	Chia-Kwung Fan	台湾・台北医科大学・教授	H27 年度原虫病研究センター共同研究
平成 27 年 8 月 9 日～ 8 月 14 日	Chien-Wei Liao	台湾・台北医科大学・助教	H27 年度原虫病研究センター共同研究
平成 27 年 9 月 15 日～ 9 月 18 日	Baavgai Nasanbayar	モンゴル・モンゴル教育科学省・局長	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加

外国人研究者、来訪者の受入れ状況・続き

受入期間	氏名	国名・所属機関・職名	目的
平成27年 9月15日～ 9月19日	Battsetseg, B.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・所長	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Battur, B.	モンゴル・モンゴル国立農業大学・教授	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Bat-Uyanga, L.	モンゴル・SATREPS プロジェクト・研究アシスタント	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Narantsatsral, S.	モンゴル・SATREPS プロジェクト・研究アシスタント	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Enkhtaivan, B.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Amgalabaatar, T.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Uuganbayar, E.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Otgonsuren, D.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Altanchimeg, A.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Mungun-Ochir, B.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Baatarjargal, P.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加
平成27年 9月15日～ 9月19日	Naranbaatar, Kh.	モンゴル・モンゴル国立獣医学研究所・研究員	SATREPS プロジェクトの成果進捗報告会参加

外国人研究者、来訪者の受入れ状況・続き

受入期間	氏名	国名・所属機関・職名	目的
平成 27 年 10 月 5 日	Naomi Maina	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Prof. (Sci.)	施設見学
平成 27 年 10 月 5 日	Losenge Toroop	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Prof. (Agr.)	施設見学
平成 27 年 10 月 5 日	Daniel Sila	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Dr. (Agr.)	施設見学
平成 27 年 10 月 5 日	Peter Mwangi	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Dr. (Sci.)	施設見学
平成 27 年 10 月 5 日	Andrew Nyerere	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Dr. (Sci.)	施設見学
平成 27 年 10 月 5 日	Shinjiro Shiomi	ケニア・ジョモケニアア タ農工大学・Prof.(日 本人専門家)	施設見学
平成 27 年 10 月 10 日	Duong Duc Hieu	ベトナム・Vietnam National University of Agriculture	日本寄生虫学会・日本衛生動 物学会北日本支部合同大会
平成 27 年 11 月 1 日～ 11 月 30 日	Issariya leamsuwan	タイ・マヒドン大学・大 学院生	特別研究学生
平成 27 年 11 月 2 日	Edwin C. Villar	フィリピン・農業、水 産、天然資源審議会 家畜研究所・所長	共同研究打合せ
平成 27 年 11 月 2 日	Clarissa Y. Domingo	フィリピン・農業、水 産、天然資源審議会 家畜研究所・研究員	共同研究打合せ
平成 27 年 12 月 2 日～ 12 月 9 日	Adrian P. Ybanez	フィリピン・フィリピン大 学獣医学部・上級講師	第 4 回 GAMRC 獣医学研究部 門 特別セミナー
平成 28 年 1 月 26 日	クレア・フィリップス博士	イギリス・エジンバラ獣 医科大学	施設見学
平成 28 年 1 月 26 日	アンディ・フッカー博士	イギリス・エジンバラ獣 医科大学	施設見学
平成 28 年 2 月 1 日～ 2 月 5 日	Francisco Ferreira	ブラジル・Minas Gerais 連邦大学寄生 虫分野・大学院生	病原体媒介ベクター蚊使用実 験に関する技術移転

外国人研究者、来訪者の受入れ状況・続き

受入期間	氏 名	国名・所属機関・職名	目 的
平成 28 年 2 月 2 日～ 5 月 31 日	Khandsuren Naranbaatar	モンゴル・モンゴル農 業大学獣医学研究所・ 研究員	共同研究

② JICA研修コース

コース名称: 原虫病および食品媒介感染症上級専門家育成

受入期間: 平成 27 年 10 月 21 日 ~ 平成 28 年 8 月 20 日

研修生情報

国籍	氏名	現職
キルギス共和国	SAADANOV Iskender (アレックス)	Senior lecturer, Virology and biotechnology, Kyrgyz National Agrarian University

使用言語: 英語

コースの背景と目的

世界の人口は、21 世紀半ばに現在の約 1.5 倍(90 億人)に達すると見込まれるが、特に新興国・開発途上国では、未来の動物性蛋白質の安全確保のため、家畜感染症による食料生産阻害の現状を早急に打開することが懸案となっている。一方、これら感染症のほとんどは人獣共通感染症で、食料問題のみならず、直接に人々の健康並びに安全な社会活動を脅かしている。途上国では、これら感染症のコントロールを国際社会と協調して実践する高度専門家の育成が喫緊の課題となっている。先の G8 北海道洞爺湖サミット首脳宣言においても、マラリア等感染症の診断、ワクチン、治療薬の開発研究や公衆衛生上の問題に対処するための開発途上国の能力開発支援を強化することが提唱されている。また、世界 178 ヶ国が加盟して家畜と畜産品の安全・安心確保を目指す国際機関「国際獣疫事務局(OIE)」では、世界最先端の感染症研究組織をコラボレーティングセンターとして認定し、当該組織の研究成果を新たな感染症診断法やワクチンの国際標準化に活用している。近年、OIE においても、開発途上国における感染症診断技術、公衆衛生の向上を図るため、コラボレーティングセンターの開発途上国に対する貢献を重要視しており、平成 20 年 5 月にアジアで初めて OIE に認定された本センターにも大きな期待が寄せられている。

本 JICA コースでは、教員等のスタッフと研究設備が整った本センターにおいて、人畜共通感染症の制圧に携わる途上国専門家が、感染症対策に直接関連した予防・診断・治療技術とその実践に役立つ周辺専門知識を習得し、途上国での人畜共通感染症の予防・診断・治療技術の質が向上することを目的とする。

研修方法

研修員は、技術研修冒頭において、導入共通科目として、人畜共通感染症、原虫病、細菌性感染症、ウイルス性感染症、食物が媒介する感染症、実験器具や実験動物の取扱い、血清診断の基本について学ぶ。その後、各研究分野のいずれかにて、個別に指導教員の指導のもと、先端研究技術を習得する。1ヶ月に2回ほど、本センター教員に加えて、学内外研究機関の専門家による、原虫病、細菌性感染症、ウイルス性感染症関連の特別講義も提供する。

研修員の評価等

インセプションレポート(初期報告書)発表会

本コースの初期に、研修員の母国における人畜共通感染症の現状およびそれらが引き起こす問題を把握するため、研修員によるインセプションレポートの発表会を行う。

中間レポート発表会

本コースの中間期において、研究の進捗についてまとめて発表を行う。

インテリムレポート

同報告書は、研究成果をまとめた論文形式のものと帰国後に研修で得た知識やスキルが、自国の感染症対策の問題点の解決にどのように寄与し得るかまとめたエッセイの2つから成る。研修員はコース終了時にファイナルレポート発表会で同レポートの発表を行う。

マンスリーレポート

毎月の研究進捗状況に関するレポートを提出する。

③ 教員の海外派遣状況

期 間	職 名・氏 名	渡航先(国名)	目 的
2015年4月11日～19日	教授 河津 信一郎	フィリピン	フィリピンにおける日本住血吸虫症の疫学調査(研究合せ、疫学調査)
2015年4月13日～27日	教授 五十嵐 慎	モンゴル	調査研究
2015年4月19日～27日	教授 横山 直明	モンゴル	野外調査と情報交換
2015年5月3日～7日	教授 井上 昇	フランス	第1回 OIE 非ツェツェ媒介性動物トリパノソーマ病ネットワーク会議参加・発表・意見交換
2015年5月27日～ 6月12日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの家畜原虫病疫学調査ならびに第2回 JCC 会議参加発表のため
2015年6月17日～24日	教授 鈴木 宏志	アメリカ	米国繁殖生物学会参加、発表
2015年6月21日～25日	准教授 西川 義文	インドネシア	インドネシア・スラウェシ島における原虫感染症の疫学調査に関する研究打合せ
2015年6月28日～ 7月5日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの家畜原虫病疫学調査ならびに共同研究のため
2015年7月6日～11日	教授 五十嵐 慎	モンゴル	調査研究
2015年7月19日～25日	教授 井上 昇	フランス	ウマトリパノソーマ病に関する OIE アドホックグループ会議参加・発表のため
2015年7月21日～26日	教授 河津 信一郎	フィリピン	大学院講義・研究打ち合わせ及び、アジア住血吸虫症会議(RNAS+ meeting)参加
2015年8月2日～8日	教授 玄学 南	中国	研究打合せ
2015年8月10日～23日	教授 五十嵐 郁男	アイルランド	ダブリン大学獣医学部の視察、打ち合わせ、第25回世界獣医寄生虫学会における研究成果の発表、Veterinary Parasitology の編集会議
2015年8月13日～18日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの家畜原虫病疫学調査ならびに共同研究のため
2015年8月15日～22日	准教授 西川 義文	イギリス	第25回 World Association for the Advancement of Veterinary Parasitology にて研究発表
2015年9月4日～9日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの家畜原虫病疫学調査ならびに共同研究のため

教員の海外派遣状況・続き

期 間	職 名・氏 名	渡航先(国名)	目 的
2015年9月9日～17日	教授 鈴木 宏志	中国	二国間交流事業疫学調査
2015年9月9日～17日	教授 玄学 南	中国	二国間交流事業疫学調査
2015年9月30日～ 10月5日	教授 横山 直明	スリランカ	家畜原虫病診断についての研究成果発表及び共同研究に関する意見交換と情報収集
2015年10月19日～ 23日	准教授 西川 義文	インドネシア	インドネシア・スラウェシ島における原虫感染症の疫学調査に関する研究打合せ
2015年10月22日～ 26日	教授 五十嵐 郁男	中国	Elsevier が開催する Editors' Conference 2015 への参加
2015年10月25日～ 28日	教授 河津 信一郎	アメリカ	第64回米国熱帯医学会 (ASTMH)
2015年10月27日～ 11月1日	教授 五十嵐 郁男	アメリカ	第64回アメリカ熱帯医学会への出席、セルジーン社と共同研究打ち合わせ
2015年10月29日～ 11月2日	教授 河津 信一郎	アメリカ	寄生虫病診断用 POCT 開発に関する研究打ち合わせ
2015年11月3日～8日	教授 井上 昇	ベトナム	ベトナム側共同研究者と、共同研究に関する研究打ち合わせと家畜原虫病に関する情報交換を行った
2015年11月3日～8日	教授 横山 直明	ベトナム	ベトナム側共同研究者と、共同研究に関する研究打ち合わせと、家畜原虫病に関する情報交換
2015年12月8日～21日	教授 鈴木 宏志	ウガンダ	論博取得支援プログラムにおける現況調査と実地指導
2015年12月8日～21日	教授 玄学 南	ウガンダ	疫学調査と打合せ
2015年12月9日～12日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの家畜原虫病疫学調査ならびに共同研究のため
2016年1月17日～21日	教授 河津 信一郎	フィリピン	研究打ち合わせ
2016年1月24日～31日	准教授 西川 義文	インドネシア	原虫感染症の疫学調査に関する研究打合せ
2016年2月6日～21日	教授 鈴木 宏志	ベナン、ブルキナファソ	ベナンとブルキナファソにおけるマダニ媒介原虫感染症の実態調査
2016年2月7日～21日	教授 玄学 南	ベナン、ブルキナファソ	疫学調査・JICA OB 会
2016年2月19日～27日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの共同研究ならびに供与機器設置作業のため

教員の海外派遣状況・続き

期 間	職 名・氏 名	渡航先(国名)	目 的
2016年2月27日～ 3月5日	准教授 西川 義文	フィリピン	原虫病の疫学調査に関する研究打合せ、およびセミナーと実習の開催
2016年3月7日～15日	教授 井上 昇	モンゴル	SATREPS プロジェクトでの共同研究のため
2016年3月7日～15日	特任助教 菅沼啓輔	モンゴル	SATREPS に関わる事業(構疫ウマ病理解剖他)

④ 国際共同研究

プロジェクトタイトル: 基盤 B 海外学術 ・ モンゴルにおける家畜原虫病と冷害死の実態調査

期間: 平成 25 年から平成 27 年度

予算見込み額: 1350 万円

プロジェクト概要:

極寒が家畜に与えるストレスは、疾病に対する抵抗力を低下させ生産性を著しく悪化させる。特にモンゴルでは冷害(ゾド)が基幹産業の畜産業に深刻な被害を与えている。2010 年には国内総飼養家畜の 23%(約 1,032 万頭)が冷害で斃死しており、およそ 60 億円の損失があった。本提案課題では、我々が確立した原虫病診断技術を用いて家畜原虫病のアクティブサーベイランスを実施し、慢性消耗性疾患である原虫病と家畜の冷害死との因果関係を明らかにすることを目的とする。加えて、現地で継続活用可能な原虫病の簡易診断法を構築し、現地共同研究者とともに原虫病の清浄化プログラムを考案し、人材育成と国際貢献を図る。

プロジェクトタイトル: JST/JICA SATREPS ・ モンゴルにおける家畜原虫病の疫学調査と社会実装可能な診断法の開発

プロジェクト期間: 平成 25 年から平成 30 年度

予算見込み額: 1 億 3000 万円

プロジェクト概要:

トリパノソーマ病やピロプラズマ病等、多くの家畜原虫病は持続感染して慢性的に家畜の健康状態を悪化させる。国民の多くが畜産業に従事するモンゴルでは、特に深刻な問題となっている。本研究では、トリパノソーマ、ピロプラズマ野生株とそれらを媒介するマダニの分布マップ作成、原虫野生株の抗原遺伝子解析に基づく簡単で迅速な診断キットを開発、そして今後の感染対策に備えた研究資源の確保を目標としている。